

十勝組だより

組長退任挨拶



十勝組前組長
白木 幸久

(1) 十勝組は、全国五三三組（組画編成前）のなかでも、十指に入るほど寺院数の多い組ですが、一步前に踏み出すことができました。昨年度、本山への団参出発直前に踏み出しましたが、東日本大震災が起きました。どうにか、団参を無事に終えられました。未曾有の被害に対し、十勝組では災害対応を終え、改めて、不肖ゆえに支えていただきました、十勝組の皆様方に感謝申し上げます。

「和合」という旗印を掲げました。組会はそれまで僧侶だけでいたが、平成二十一年度規約を改正して、ご門徒（総代）さんにも出席いただき、一緒に、十勝組の進む道を決めてもらいました。院におきまして、十勝組のお待ち受け法要を盛大にお勤めできました。平成二十二年七月三日帶広別院の皆様にはアーログ人間なので、



前副組長
御幸 誓見

退任挨拶

白木組長のもと五年間、副組長の大任を、十勝組皆様のご協力により無事勤めさせて頂き本当にありがとうございました。また、他三役

色々と御苦労をおかけした事と申しきなく思つておる次第です。宗派が新体制となるなか、千葉組員体制により新たな十勝組のスタートです。僧侶、寺族、門信徒の皆様の協力体制をしっかりと築いて頂き様々な課題に対応されることを心よりお願い申し上げます。

合掌

まず、東日本大震災において、台風、水害、雪害等において被災された方々、すべてのいのちに、心よりお悔やみお見舞い申上げます。

さて、五年前、就任させていただいた折からお世話をなりました村瀬会長が急逝され、その後、近藤さんが代行をして下さいました。現在大野さんが会長として会をまとめて下さっております。

ふり返つてみると、長沼の誓報寺での全道大会、毎年の総会、パークゴルフ大会、懇談会、十勝川温泉で総代会との合同一泊研修会と役員の方々と何度も打ち合わせをし、また用意と御苦労をおかけしましたこと、感謝しております。

こうして、会員の皆様、僧侶の方々、お別院さんのご協力のもと、五年間を過ごさせていただきましたこと、心より御礼申させていた

す。十勝組は全国五三三組（組画編成前）のなかでも、十指に入るほど寺院数の多い組ですが、一步前に踏み出すことができました。昨年度、本山への団参出発直前に踏み出しましたが、東日本大震災が起きました。どうにか、団参を無事に終えられました。未曾有の被害に対し、十勝組では災害対応を終えられました。ここに、感激をもつて下山できましたこと、本当にありがとうございました。

組長の職に就いて、思いもよらず、いろいろなご縁、体験に恵まれました。昨年暮れ、沖縄での現地学習もそのひとつでしようが、それでもって、屋久島の縄文杉登山もできました。ここに、感激をもつて下山できましたこと、本当にありがとうございました。

また、台風、水害、雪害等において被災された方々、すべてのいのちに、心よりお悔やみお見舞い申上げます。



前社年会部部長
上本 周司

退任挨拶

だきます。本当にお世話になり、ありがとうございました。これらも皆様と一緒にご法義繁盛、お念仏繁盛のお集いをさせていただきたいと思います。

南無阿弥陀仏



十勝組相談員
石田 智秀

五年間を振り返る

今ふりかえりますと、相談員は基幹運動の要ですから、各部の活動をもつと積極的に把握し、いろいろな相談を受けたときに応えられるようになります。……よう努めなければならなかつたのはないかと思ひます。組の各種業務やイベントが従来どおりに回つていたのは組長さんと副組長さんが相

この五年、組の副相談員と相談員を務めさせていただきました。

当初の業務は公式サイトの管理となつてからは増え、年度末・初の常任委員会・組会の資料準備等をしました。

楽しい思い出です。

五年間、いろいろ本当にありがとうございました。

役会でその報告をしたところ、大変に驚かれ（無理もありません、わたし自身がいちばん驚きましたから）、また大変喜ばれたのも、

役員の補佐でしたが、相談員になつてからは増え、年度末・初の常任委員会・組会の資料準備等をしました。

この五年、組の副相談員と相談員を務めさせていただきました。

当初の業務は公式サイトの管理となつてからは増え、年度末・初の常任委員会・組会の資料準備等をしました。

役員の業務まで分担してくださりました。社会的には東日本大震災が、宗門的には親鸞聖人の大遠忌法要に出遇えたこと、宗会選挙等が印象に残っています。私事で恐縮ですが結婚もいたしました。三

任期中にいろいろなことがありました。社会的には東日本大震災が印象に残っています。私事で恐縮ですが結婚もいたしました。三役会でその報告をしたところ、大変に驚かれ（無理もありません、わたし自身がいちばん驚きましたから）、また大変喜ばれたのも、役員の補佐でしたが、相談員になつてからは増え、年度末・初の常任委員会・組会の資料準備等をしました。

青少年部部長 藤本 実円

青少年部

合掌

信託のパワーやいかに引き出していく

勝組の各寺院でも開催され、確実にその輪は広がっています。あくまでもキッズサンガの現場は一ヶ寺づつの『お寺』であります。そこへいかに灯りを点けることが出来るかは、門



いけるかが課題ですので、今後の方策を企画・発信して行かなければなりません。青少年部はもちろんキッズサンガの灯りはそのままお寺の未来へつながる灯りと位置づけ活動して参ります。

青少年部部長 藤本 実円

研修部

二〇一一年度末までの現体制五年間をふりかえって、毎年度計画に基づいて到達できた点を記します。

毎年度、基幹運動の推進のため少年部五年間の活動の集大成であります。

中でも中央相談員の各氏と連研中央講師を中心とした提起と講義が実施できたことは門信徒会運動の実践と同朋運動の理解の上で、大きな評価ができます。

また、念願であった「十勝組第八期、第九期門徒推進員連続研修会（連研）」という二期に渡つての実施は、そこに関わったスタッフの理解と話し合い法座を通して、

期進行計画に

「次代を担う

「人」の育成

の中から（お

寺を子ども

居場所に）を

一つの合言葉

として、全寺

院子どもの集

い『キッズサ

ンガ』は平成十九年より取

り組まれ、十

勝組の各寺院

がつています。あくまでもキッズサンガの現場は一ヶ寺づつの『お寺』であります。そこへいかに灯りを点けることが出来るかは、門信徒のパワーやいかに引き出していく

受講者とともに僧侶が学んでいく中で、現実の苦悩を教えに問い合わせ、聞き、語る場として、私たち自身に何が求められているかを痛切に感じるものとなりました。

さらに積み重ねてきた「十勝組テレホン法話」の集大成としてテレホン法話集を第五集（〇七年一二月分）まで発刊できたことは、この数年における一つの括りとなりました。

今後、来年度以降、新たな実践運動が展開するにあたり、基幹運動との整合性を軸に、継続した視点で組の実践運動を組み立て行かねばならないと考えてい

ビハーラ十勝の活動をふり返つてみると平成二十年春に、しばらく休止状態だったビハーラ十勝の活性化の話し合いを始めました。

一緒にビハーラ 実践しましょう！

ビハーラ十勝代表
高田 芳行



初回この話し合いに集まつたのは以前にビハーラ活動をしたことのある帯広別院門徒の鎌田悦己さん（宗派ビハーラ活動者養成研修会九期修了）と仏照寺坊守の藤本徳美さん（同研修会十期修了）と私と副相談員の石田智秀さんの四名でした。組内住職が理事をされていました。組内住職が理事をされて医療・福祉・仏教のネットワークを作り、支援を求めている人と繋

おいて月一回二時間半のプログラムのビハーラ活動を実施させていたたいています。

ビハーラ活動の基本は相手のお話を聞かせてもらう傾聴活動です。私は含め会の八割の会員はビハーラ活動が初体验で、不安や戸惑いもありました。そんな時、先にビハーラ活動をしている友人から長倉伯博先生の「こころの点滴」というDVDを見せてもらい、長倉先生の考え方と実践に深い感銘を覚えました。

私も今後、僧侶としてがることが、仏教者の役割であると感じています。

この春から妙法寺の石田遇由美さんが同研修会第二十二期に参加してくださいます。

組内の有縁の皆様、ご一緒にビハーラ活動にご参加下さい。実践しましょう。



称名

新組長・副組長挨拶

就任のご挨拶



十勝組々長
千葉 照映

聖人は自ら家庭を持つ中で苦悩する人々と共に、お念佛の道を歩まれました。

その思いが「御同朋の社会をめざす運動」という中に込められているものと思います。

総合テーマとして「そつとつながる ホツがつたわる／結ぶ糸から広がるご縁へ」と掲げられました。東日本大震災以後、糸といふ言葉が時代を象徴するようになりますが、十勝組としても「御同朋の社会をめざして共に歩もう」というテーマに決めさせて頂きました。

梅原組長一期目に会計を担当して以来十数年ぶりの大役を仰せつかりました。この度は総務担当を命じられましたが、浅学非才の身であり、組の重鎮的存在である前任者の御幸氏と比べると、力不足であることは明らかであります。

しかし、「全員が副組長



副組長
岩崎 教之



副組長
桃井 直行

またまた副組長です

ご挨拶

みなさん、こんにちは。”またまた副組長”の中札内・真光寺の桃井直行です。

五年前に白木前組長より副組長『庶務』を命ぜられ、今年の三月三十日を持って任期満了・ハイお疲れさまでした：のはずでした

が、なんと千葉新組長より

また副組長”を命ぜられてしまい、

人の良い私は断ることが出来ず、

結局”またまた副組長”になってしまった

この度、四月一日付けをもちまして前白木組長に代わり十勝組々長を拝命致しました、新得町屈足立教寺、千葉でございます。前白木組長の意志を受け継ぎ微力ではございますが一期四年十勝組の為、尽力する所存ですので御支援賜りますようお願い申し上げます。

御本山では親鸞聖人七五〇回大遠忌法要も一月十六日に御正當を

迎え、新たに四月一日より本願寺の体制が変わり「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）としてスタート致しました。

現在、組委員会副委員長の高田さんにお願いし復興支援状況を調査していただいておりますが、皆様方の益々のご支援ご協力をお願ひ添うことそれが十勝組の第一歩ではないかと思つております。

引き受け致しました。

（頑張れ、副組長！）

まあ、5年間にわたり十勝組の庶務をやつてきたわけですから、大体の仕事の内容も要領もわかつておりますので、特段変なことはないと思っているのですが…。

（いやいや、やること一杯あるよ。

案内状作って、発送して、出

欠の取りまとめをやって、配付物配つて、会議のたびに議事録作つて、欠席者に報告書を送つて、：

聖人を慕う私達は常に聖人の生き方を鏡として我が身を振り返り人々の苦悩に寄り添つて行かなければなりません。

十勝組として「そつとつながる ホツがつたわる／結ぶ糸から広がるご縁へ」と掲げられました。東日本大震災以後、糸といふ言葉が時代を象徴するようになりますが、十勝組としても「御同朋の社会をめざして共に歩もう」というテーマに決めさせて頂きました。今、正に苦悩する人々に寄り添うことそれが十勝組の第一歩ではないかと思つております。

組の活動は各寺のネットワークであると思います。我が寺だけではなくしえないことが、協力することで新たな展開を生むことが出来るのでは無いでしょうか、組が各寺の活動の一助になるような活動をすることが大切であると思いま

す。人々の苦悩とともに生き抜くことなどがみ教えの根本にあるのです。

親鸞聖人は災害・飢饉・戦乱の世にあって苦悩の中にある人々を救う真実の教えをお示し下さいました。人々の苦悩とともに生き抜くこと

くことこれが根本にあるのです。

どうぞご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

合掌

仕事はエンドレスだよ！

今までの五年間を振り返つてみる

ると、四十代という年齢もあり、様々な役職が回ってきた時期でもありました。

(忙しいのは結構なことだよ)

十勝組の副組長をやりながら、

十勝組若手僧侶の会の一昧会

の会長をやり、同時に北海道教区

の若手僧侶の会である青年僧侶協議会の副

会長もやつておりましたので、会議やイベント・研修会など結構な

数があつたりして忙しかったよう

に思われます。

(お疲れさんでした。でもその

代償として、血糖値は高いし、コレステロール値は高いし、内臓脂

肪値も高いぞ！)

まあ、今現在は、副組長以外の

役職からは外れているので、身も

心もお気楽といえば、お気楽です

(そうは問屋が卸さないな！きっと

この四十才という年齢を越えて、成

最近、特に感じることがあるが、気

持ちはまだ若いつもりのままでも

身体は確実に老化しているし、成

人病も確実に忍び寄つてきている

ということです。

(当たり前だよ。もう平均年齢

の半分過ぎてるんだから)

今年の春、若手僧侶のフットサ

ル全国大会に広島まで行つてきま

した。そこで年甲斐もなく頑張つ

ちやつて点数も取つたのですが、

その代價は結構大きなものでした。

シューートを打つただけなのに何故

か踏み込んだ軸足をねんざ。(なん

でだろう) ただボールを追いか

けて走ついただけなのに足がも

つれて転倒。膝をすりむく擦傷を

負う。(なんでだろう) そして気

がつけば両足の親指の爪は内出血

をして真っ黒に(なんでだろう)

など十年前なら考えられないこと

ばかりです。

(年齢を考えなさい！どう考え

たって、二十代のプレイヤーとで

は勝負にならないだろ！)



副組長
泉 恒樹

ご挨拶

たまた副組長”

合掌

忘れるなよ！」

今後ともどうぞ宜しくお願ひ致

します。

（まあ、せいぜい頑張れ、”ま

（なんでもいいから良くなつて
くれればいいな）

私は与えられた任期はあと四年

間ありますので、十勝組の副組長

として、与えられた仕事は無理を

せずに淡々と着実にこなしていき、

よりよい十勝組の実現のために尽

力してまいりたいと思っておりま

す。

（それが一番大切だ！謙虚さを

忘れるなよ！）

十勝組というのは、ご存じの通

り範囲が広く寺院数も多いのです

が、それぞれに地域性もあり、ま

た悩みも多い事だと思います。新

しい組長になつたという事は、共

に歩む寺院として、その悩みを共

有しながら協力し合えるキッカケ

の時期でもあろうかと思ひます。

また、宗教離れといわれる時代

となりました。今まで通りの組の

あり方を踏襲しつつも、新たな時

代へ：また、現代の門信徒の方々

にどのように応えていけるのかを

考える組のあり方を、新役員と共に

模索していく四年間にかけてい

きたいと思いますので、どうぞよ

ろしくお願ひします。

（やつとわかつたか）

さて、宗門におきましては、こ

の四月からは組織も大きくなり十

勝組の副組長（会計担当）を拝命

しました。

今まで本山、教区、組の色々な

事に携わらせて貰いながらも、表

面的な事で何も分かつてない状



実践運動十勝組委員会役員名

委員長

千葉照映

副委員長

高田芳行(主任)

白井教生(副主任)

総代会部

桃井 信之

藤原 昇典

壮年会部

鈴木 克彦

椎原 瑞栄

婦人会部

三浦 敬信

渡邊 了海

青少年キッズサンガ部

佐藤 誠

上本 周司

寺族婦人会部

竹中 健晃

豊田 信英

副部長

賀陽 真哉

別院 渡邊 了海

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

部副部長

上本 周司

別院 渡邊 了海

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

部副部長

上本 周司

別院 渡邊 了海

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

各線幹事

鷲岡 佑照

上本 周司

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

研修部

鷲岡 佑照

上本 周司

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

研修部

鷲岡 佑照

上本 周司

部副部長

鷲岡 佑照

上本 周司

研修部

鷲岡 佑照

上本 周司

訃報

平成二十四年六月十日、佛照寺第三世住職、藤本肇様が行年八十五歳を持って往生の素懐を遂げられました。永年のご苦労に対し、厚くお礼を申し上げるとともに、深く哀悼の意を表します。

編集後記

白木体制五年間が終ります。ご苦労さまでした。基盤の皆様にもお礼申し上げます。新千葉体制でも皆様のお力を借りることになりますが、よろしくお願い致します。役立つの部長でしたか、あしからず。新部長加藤さんご協力の程をお願い致します。(白井)

訃報

平成二十三年十一月十九日、本善寺開基坊守、山田リツ様が、行年九十歳で往生の素懐を遂げられました。

永年のご苦労に対し、厚くお礼申し上げるとともに、深く哀悼の意を表します。

☆宗門目標 御同朋の社会をめざして

☆スローガン
ともにいのちかがやく世界へ

テレホン法話

(○二一五五)二二一七七七七

十勝組ホームページ

<http://www.wiotakachisoco.com>

北海道教区ホームページ

<http://www.hokkaidohongwanji.jp>

[IDは寺院番号6ヶタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封]

伝導広報部

副部長 加藤 淳司
部員 増山 高久 教仁

平成二十五年三月十日、俊教寺第三世坊守、椎原のり様が行年八十二歳を持って往生の素懐を遂げられました。永年のご苦労に対し、厚くお礼を申し上げるとともに、深く哀悼の意を表します。

訃報